

第93期 報告書

平成26年4月1日 ▶ 平成27年3月31日

SHOWA

快 適 環 境 の 創 造 に 挑 戦 す る



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループは平成27年3月31日をもちまして、第93期を終了いたしましたので、ここに事業の概況並びに決算の結果につきましてご報告申し上げます。

平成27年6月

代表取締役社長 福田 俊仁

本業回帰で筋肉質な企業体質 「事業の選択と集中」、「差別化」

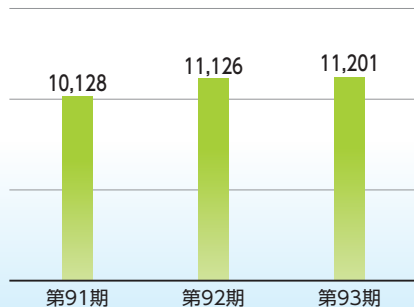
Q 第93期の総括をお願いします。

当連結会計年度におけるわが国経済は、消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動減の長期化、円安による物価上昇、夏の天候不順などにより景気回復に足踏み感が見られたものの、政府による緊急経済対策や日銀の追加金融緩和により企業と家計の所得環境や需要の改善傾向が続き、総じて緩やかな回復基調で推移しました。

このような情勢の中で当社グループは、平成30年度を最終年度とする新中期経営計画「持続的進化」の初年度として、基本方針である「既存事業の持続的進化」及び「新規事業の確立」の実現に向け、差別化

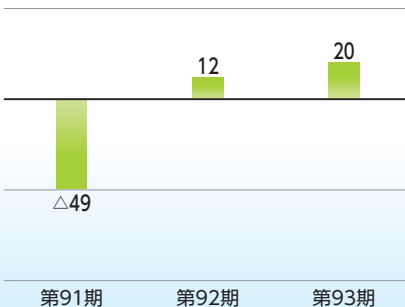
売上高

(単位：百万円)



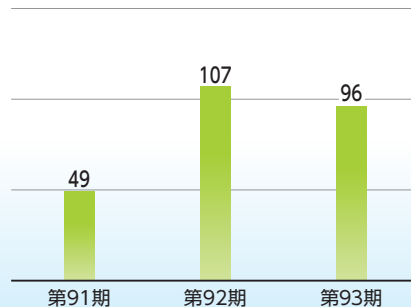
経常損益

(単位：百万円)



当期純利益

(単位：百万円)



を実現するため、 新製品の開発」、「固定費の最小化」に取り組んでまいります。

した新製品・サービスの拡販と新規事業への投資を
実施してまいりました。

万円を計上した結果、当期純利益は9千6百万円(前
連結会計年度比9.7%減)となりました。

Q 第93期の業績についてお聞かせください。

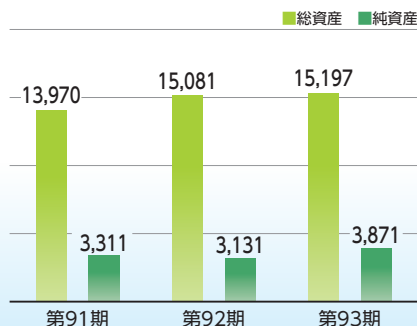
当連結会計年度の当社グループの売上高は112億
1百万円(前連結会計年度比0.7%増)、受注高につ
きましては110億6千7百万円(同比3.1%減)となりました。

損益面では、売上高はほぼ前年度並みでありまし
たが、原価改善や固定経費削減に努めたことにより、
経常利益は2千万円(前連結会計年度比60.5%増)とな
りました。

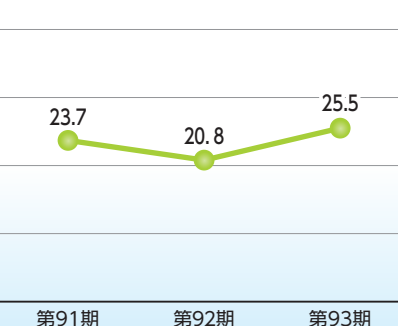
また、特別利益に投資有価証券売却益等1億2百



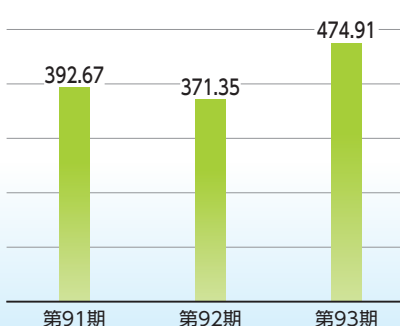
総資産・純資産 (単位: 百万円)



自己資本比率 (単位: %)



1株当たり純資産 (単位: 円)



Q 事業セグメント別の業績をお聞かせください。

■ 機器装置事業

機器装置事業につきましては、空調BU(ビジネスユニット)の「リタンエアデシカント外気処理機」が計画どおりではなかったものの、熱源BUではボイラー・ヒーターを中心に売上が堅調に推移しました。また、サーモデバイスBUでは自動車向け加熱炉の売上が大幅に伸びたことにより好調に推移しました。

その結果、当事業の売上高は67億2百万円(前連結会計年度比7.6%増)、受注高は65億4千9百万円(同比1.2%減)となりました。

■ 素形材加工事業

素形材加工事業につきましては、素形材BUでは精密鋳造品の売上が堅調に推移しました。また、都市景観BUでは軽量型ダクティル鋳鉄製防護柵のラインナップ

拡充を図り拡販に努めましたが、前年度のような大型案件がなかったことや公共事業の入札不調多発により大幅な売上減少となりました。

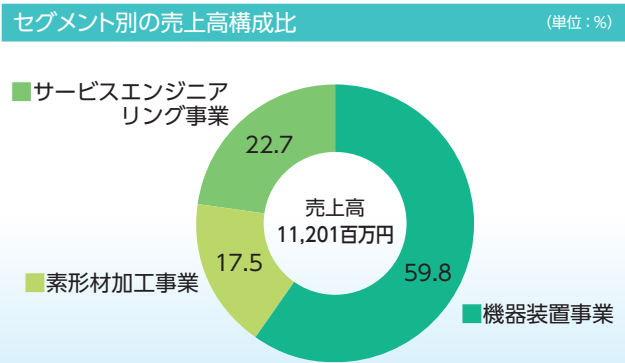
その結果、当事業の売上高は19億5千7百万円(前連結会計年度比27.4%減)、受注高は21億7千6百万円(同比9.4%減)となりました。

■ サービスエンジニアリング事業

サービスエンジニアリング事業につきましては、設備工事は前年度の受注案件が予定どおり完成したことにより好調に推移しました。また、有料サービス及びリニューアル工事の売上も順調に推移しました。

その結果、当事業の売上高は25億4千1百万円(前連結会計年度比15.6%増)、受注高は23億4千1百万円(同比2.2%減)となりました。

セグメント別の売上高・受注高		(単位: 百万円)
	売上高	受注高
■ 機器装置事業	6,702	6,549
■ 素形材加工事業	1,957	2,176
■ サービスエンジニアリング事業	2,541	2,341
合計	11,201	11,067



Q 今後の見通しをお聞かせください。

今後の見通しにつきましては、原油価格の下落により、輸入コスト減による企業収益の向上、ガソリン・灯油の価格や電気代の下落による家計の実質所得増などが内需を好調に推移させるとともに、世界経済の持ち直しによる輸出の増加も期待され、内外需そろったバランスの良い成長が見込まれます。

Q 今年度の取り組みをお聞かせください。

平成27年度は、経営体制の変更を行い、新中期経営計画の一部を見直し、新規事業進出を一時中断するとともに、新たに「本業回帰で筋肉質な企業体質を実現する!」を掲げ、5年以内に連結売上高120億円以上、安定的に連結売上高営業利益率3%以上を目指し、重点課題である「事業の選択と集中」、「差別化新製品の開発」、「固定費の最小化」に取り組んでまいります。

Q 株主還元の考え方についてお聞かせください。

当社は、株主の皆様への安定的な配当の継続を最重要課題と位置づけており、加えて企業業績のほか、今後予想される競争激化に耐えうるための経営効率化、新製品開発に備えるための内部留保の充実を勘案し、配当を行うことを基本方針としております。

第93期の期末配当につきましては、当期の業績、今後の経営環境の見通し等を勘案したうえで、1株につき5円とさせていただきました。

Q 最後に株主様にメッセージをお願いします。

新たな経営体制で、コア事業に経営資源を集中し、これからも『誠実を造り、誠実を売り、誠実をサービスする』の社是のもと、全力をつくして安定した収益基盤の確立に邁進していく所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



当社グループは、第98期(平成31年度)を最終年度とする中期経営計画『本業回帰で筋肉質な企業体質を実現する!』を掲げ、5年以内に連結売上高120億円以上、安定的に連結売上高営業利益率3%以上を目指し、次の重点課題に取り組んでまいります。

本業回帰で筋肉質な 企業体質を実現する!

We return to the core business

for profitable corporate structure.

改革と再構築を実行し、強固な収益基盤の確立を目指す

1. 事業の選択と集中

- 低収益事業の整理とコア事業への移行とともに、市場縮小製品から高成長製品への移行に取り組みます。
- 燃焼技術、ヒートポンプ技術、電気ヒーター技術などのコア技術の応用展開と組合せによる顧客指向の製品開発に集中し、利益率の確保に取り組みます。

2. 差別化新製品の開発

- ヒートポンプ技術の応用展開を図り、ヒートポンプ空調機器のラインナップ拡大とCO₂ヒートポンプ給湯機の本格市場投入を行います。
- 燃焼機器の深化を図り、高効率化、低騒音化、低NOx化をさらに追求します。また、ヒートポンプのハイブリッド化など業務用給湯システムの実態に即した製品開発に取り組みます。

3. 固定費の最小化

- 本社機能の集約とスタッフ部門の少数精鋭化を図るとともに、事業直結以外の経費の削減を行います。
- 代表取締役社長直轄の構造改革推進部において、基本の徹底(PDCA、5W1H、三現主義、報連相、見える化)によるムリ・ムダ・ムラの排除を含めた全社横断的な改革を推進します。

自社製ヒートポンプを採用することにより、さらなる快適性と省エネを追求したSHOWA独自の製品を提供してまいります。



平成27年4月
新発売

SHOWA ヒートポンプ一体型
熱回収省エネ外気処理機

**UNIVERSAL
FRESH**

ユニバーサルフレッシュ

リタンエア熱回収

CAE タイプ

リタンエア熱回収 + 全熱交換

CZR タイプ

オールフレッシュ

CAF タイプ

昭和鉄工は、給湯も外調も
ヒートポンプで快適＆省エネ



業界初

密閉式大容量給湯循環システム

SHOWA 業務用 **エコキュート**

OPTION

新開発! 自社製
ヒートポンプ採用

+

密閉式
大容量
貯湯槽

ハイ
ブリッド
熱源

学習
機能

ファンインバータ搭載
直膨エアハン外気処理機 **ビッグバック**

BIGPAC

直膨コイル内蔵
エアハン

+

空冷ヒートポンプ
室外機 (PAC)



平成27年4月
新発売

Financial Data

連結財務データ

(単位：百万円)

連結貸借対照表

科目	当期 平成27年3月31日現在	前期 平成26年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	8,124	8,159
現金及び預金	2,506	3,056
受取手形及び売掛金	3,495	3,773
電子記録債権	211	139
有価証券	600	—
たな卸資産	1,214	1,127
その他	99	66
貸倒引当金	△4	△4
固定資産	7,073	6,922
有形固定資産	2,572	2,477
建物及び構築物	557	542
機械装置及び運搬具	236	218
土地	1,581	1,584
建設仮勘定	89	27
その他	107	104
無形固定資産	41	38
投資その他の資産	4,459	4,406
投資有価証券	3,854	3,818
その他	631	615
貸倒引当金	△26	△26
① 資産合計	15,197	15,081

① 総資産

前期末に比べ1億1千5百万円増加し、151億9千7百万円となりました。主な要因は、有価証券6億円、たな卸資産(商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品)8千6百万円が増加した一方で、現金及び預金5億4千9百万円が減少したものです。

② 負債

前期末に比べ6億2千4百万円減少し、113億2千6百万円となりました。主な要因は、サードデバイス事業関連損失引当金1億1千6百万円、退職給付に係る負債2億9百万円が減少したものです。

科目	当期 平成27年3月31日現在	前期 平成26年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	8,069	8,193
支払手形及び買掛金	2,642	2,739
短期借入金	4,420	4,220
未払費用	426	435
未払法人税等	17	57
設備関係支払手形	61	34
サードデバイス事業関連損失引当金	—	116
その他	500	590
固定負債	3,256	3,756
長期借入金	870	1,090
退職給付に係る負債	1,832	2,042
繰延税金負債	187	13
その他	367	611
② 負債合計	11,326	11,950
(純資産の部)		
株主資本	3,325	3,322
資本金	1,641	1,641
資本剰余金	1,225	1,225
利益剰余金	605	543
自己株式	△146	△88
その他の包括利益累計額	545	△191
その他有価証券評価差額金	550	100
為替換算調整勘定	219	111
退職給付に係る調整累計額	△225	△403
③ 純資産合計	3,871	3,131
負債及び純資産合計	15,197	15,081

③ 純資産

前期末に比べ7億3千9百万円増加し、38億7千1百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金4億5千万円が増加したものです。

連結損益計算書

科目	当期 自 平成26年4月 1日 至 平成27年3月31日	前期 自 平成25年4月 1日 至 平成26年3月31日
④ 売上高	11,201	11,126
売上原価	8,636	8,597
売上総利益	2,565	2,528
販売費及び一般管理費	2,562	2,601
⑤ 営業損益	2	△72
営業外収益	115	215
営業外費用	97	130
⑤ 経常利益	20	12
特別利益	102	936
特別損失	—	733
税金等調整前当期純利益	122	215
法人税、住民税及び事業税	25	63
法人税等調整額	—	44
少数株主損益調整前当期純利益	96	107
⑤ 当期純利益	96	107

④ 売上高

「既存事業の持続的進化」及び「新規事業の確立」の実現に向け、差別化した新製品・サービスの拡販と新規事業への投資を実施してまいりました。その結果、当期における当社グループの売上高は112億1百万円(前年同期比0.7%増)となりました。

⑤ 営業損益・経常利益・当期純利益

売上高はほぼ前年度並みでありましたが、原価改善や固定経費削減に努めたことにより、営業利益は2百万円(前年同期は営業損失7千2百万円)、経常利益は2千万円(前年同期比60.5%増)となりました。また、特別利益に投資有価証券売却益等1億2百万円を計上した結果、当期純利益は9千6百万円(前年同期比9.7%減)となりました。

⑥ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、支出した資金は4億3百万円(前年同期は3億6千9百万円の獲得)となりました。主な要因は、税金等調整前当期純利益1億2千2百万円及び売上債権の減少額2億5百万円による増加と、その他の資産・負債の増減額4億9千9百万円、仕入債務の減少額9千6百万円及びたな卸資産の増加額8千6百万円による減少です。

連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当期 自 平成26年4月 1日 至 平成27年3月31日	前期 自 平成25年4月 1日 至 平成26年3月31日
⑥ 営業活動によるキャッシュ・フロー	△403	369
投資活動によるキャッシュ・フロー	△64	△70
財務活動によるキャッシュ・フロー	△133	△68
現金及び現金同等物の増減額	△601	231
現金及び現金同等物の期首残高	3,042	2,811
現金及び現金同等物の期末残高	2,440	3,042

会社概要

商号	昭和鉄工株式会社 Showa Manufacturing Co.,Ltd.
本社所在地	福岡市東区箱崎ふ頭三丁目1番35号
創業	明治16年10月2日
設立	昭和8年4月30日
資本金	16億4,100万円
従業員数	318名(連結376名)
主な事業内容	ファンコイルユニット・エアハンドリングユニット等の空調機器、業務用エコキュート・ボイラー・ヒーター・バーナー・オユシス等の熱源機器、循環温浴器・空気清浄機等の環境機器、液晶パネル製造用熱処理炉等のサーモデバイス機器、橋梁用防護柵等の景観製品、 casting品等の製造販売のほか、空調機器、熱源機器等の一部販売・メンテナンス・取替工事及び給排水衛生設備等の設計・監理・施工の請負
主な事業所	
東京支社	東京都大田区蒲田五丁目44番5号
工場	宇美工場(福岡県粕屋郡)、古賀工場(福岡県古賀市)、札幌工場(石狩市)
営業所	札幌、仙台、北関東(さいたま市)、名古屋、大阪、広島、下関、九州(福岡県粕屋郡)、南九州(熊本市)、鹿児島
関係会社	昭和ネオス株式会社、昭和トータルサービス株式会社、大連氷山空調設備有限公司、KOREA PIONICS CO., LTD.

役員

(平成27年6月25日現在)

取締役・監査役		執行役員	
代表取締役	福田 俊仁	社長CEO	福田 俊仁
取締役	村山 正巳	執行役員	村山 正巳
取締役	鍋山 敏郎	執行役員	鍋山 敏郎
取締役	倉岡 淳	執行役員	倉岡 淳
取締役	板並 隆一	執行役員	板並 隆一
取締役	永利 新一	執行役員	一木 和弘
監査役(常勤)	山根 譲治	執行役員	鈴木 善廣
監査役	吉田 泰彦	執行役員	日野 宏昭
監査役	村上 英之	執行役員	平田 清

株式の状況

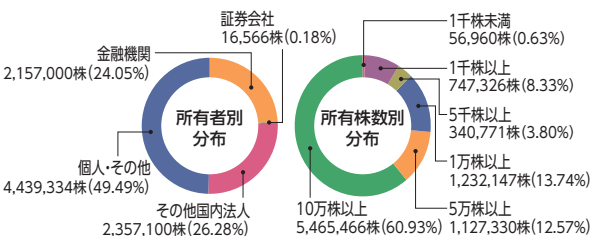
発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	8,970,000株
株主数	857名

大株主

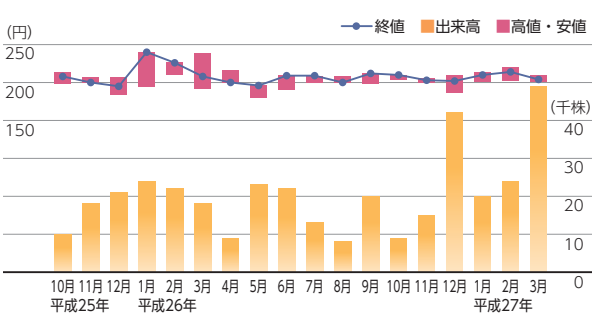
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社福岡銀行	401,500	4.92
株式会社西日本シティ銀行	400,000	4.90
株式会社北九州銀行	357,500	4.38
住友商事株式会社	345,000	4.23
西日本鉄道株式会社	291,000	3.56
飯田卓子	290,114	3.55
飯田久泰	267,000	3.27
三井金属鉱業株式会社	225,000	2.76
稲田好美	198,135	2.43
福岡商事株式会社	192,000	2.35

(注)持株比率は、自己株式(818,717株)を控除して計算しております。

株式分布状況



株価の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主総会の招集地	福岡市
基準日	定時株主総会の基準日 毎年3月31日 剰余金の配当の基準日 毎年3月31日 中間配当の基準日 毎年9月30日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (お問合せ先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告によります。 http://www.showa.co.jp/koukoku/index.html ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
単元株式数	1,000株

株主様へのご案内

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払い配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

ホームページのご案内

<http://www.showa.co.jp/>

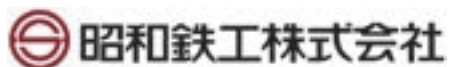
●トップ画面



●IR情報トップ画面



当社ホームページでは、IR情報をはじめ豊富なインフォメーションを掲載しています。どうぞご利用ください。



〒812-8587 福岡市東区箱崎ふ頭三丁目1番35号
TEL 092-651-2931 (代表)



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を使用し、環境に優しい植物油インキで印刷しています。